

国土交通省北陸地方整備局

## 新潟港湾空港技術調査事務所

**【連絡先】** 〒951-8011 新潟市中央区入船町4丁目3778番地  
広報担当/TEL. 025-222-6115 (代表)

全国の港湾空港技術調査事務所(以下「技調」)を訪ね歩くシリーズ企画「技調探訪」。第1回は、新潟技調の増門所長にお話を伺いました。



**【お話】**  
新潟港湾空港技術調査事務所 所長  
増門 孝一

### Q1 新潟港湾空港技術調査事務所(以下「新潟技調」)とは？

平成13年の省庁再編の時点で、新潟調査設計事務所と新潟機械整備事務所が統合し、新潟技調として発足しました。

業務としては、日本海側の港湾・空港・海岸の整備における設計業務や施工現場で生じるトラブルや不具合等の設計に関する課題に直面した際、その解決を図るべく技術支援を行っています。また、大型浚渫兼油回収船「白山」や各港事務所で所有する港湾業務艇の計画修理を行うなど北陸の港湾・空港・海岸の技術センターとして位置づけられています。

### Q2 新潟技調の特色は？

日本海側の北陸地方は、特に冬季の気候条件が厳しいです。そのため、港湾施設の設計では、これら地域の特徴を考慮した設計を行っています。

当事務所では、水理模型実験場を所有しており多方向不規則波造波装置を備えた平面水槽や断面水路において各種実験を行い、実験結果を基に管内港湾の施設整備(配置)等の提案も行っています。

国内で3隻(北陸・中部・九州で各1隻)しかない油回収機能を備えた大型浚渫兼油回収船「白山」の計画的な修理を発注・監督しています。

### Q3 職場の雰囲気は？

24名体制という比較的小規模な組織だからこそ、所長以下、その他職員の間でのコミュニケーションが良く取れ、業務における技術的な事以外でもお互い言いたいことを言い合える風通しの良い職場になっていると思います。業務においては、所長等の幹部も自ら積極的に打合せに参加し、新潟技調一体となり業務に取り組む体制となっています。その体制の背景として、省庁再編の前から、所長以下で集まり、コミュニケーションを良くとっていました。その良い風習が受け継がれているように思います。



新潟港湾空港技術調査事務所



水理模型実験場の外観



平面実験



断面実験 海底勾配立会状況

#### Q4 新潟技調の近年の実績・成果は？

昨年の8月12日に青森県の八戸港沖でパナマ船籍の貨物船が座礁した事故において、大量の油が流出しました。その対応として、すぐに白山が現地に向い、到着した翌日8月13日から8月23日まで油回収作業を実施しました。その油で汚れた船体の大掛かりな清掃を新潟技調で実施しました。

令和2年度の修理において海上に浮遊する高粘度な油も回収可能な油回収装置を白山に搭載しました。

1月21日（金）、第5回インフラメンテナンス大賞の表彰式に参加しました。受賞した案件は、沿岸技術研究センター・日本埋立浚渫協会・港湾空港技術研究所（以下：港空研）・新潟技調の4者連名で受賞したもので、内容としては、リプレイサブル棧橋の現場での適用性について評価を受けたものです。



八戸港沖での油回収作業中の大型浚渫兼油回収船「白山」  
（総トン数4,185トン、全長93.9m×幅17m×喫水5.4m）



リプレイサブル棧橋

#### Q5 新潟技調の現在の取り組み、今後の抱負は？

来年度、次世代高規格ユニットロードターミナルの形成の一環として、敦賀港にて自動係留装置の実証試験を行います。これは日本国内で初めての試みです。自動係留装置とは、従来の係留索による係船方法に変わり、真空吸着板をアームの遠隔操作により船の側面に設置させ、船を係留するものです。自動係留装置の導入に向け、令和2～3年度に、船体動揺シミュレーションの解析結果や実証試験計画の妥当性等について、委員会では有識者の意見を頂戴してきました。

このほか、全国的に設計波の見直しが行われており、その見直した設計波において、これから現状の港湾施設（防波堤・岸壁・堤防等）が耐えうる施設なのかを照査し、必要に応じて補強等の対策を計画・立案していきます。

新潟技調としてさらなる技術開発を行うとともに、日々の業務と並行して、論文を積極的に投稿するなど各個人のスキルを上げていきたいと思えます。また、現在は設計外注となっているため、コンサルから受領した成果に対して、多方面の角度から精査出来るよう、港空研等の有識者の知恵を借りながら、勉強を継続していきたいと考えています（増門所長が港空研に3年間在籍していたことから、現在でも直接港空研の研究者へ相談することはよくあります）。

#### Q6 当センターへのご意見等ございましたら

今後とも新潟技調の業務に対して、貴センターに在籍する有識者の方々のお知恵を貸していただき、北陸港湾の発展にご助力いただきたいと思います。

第5回インフラメンテナンス大賞で特別賞を受賞できたことについて、貴センターにもご協力していただき非常に感謝しています。

ありがとう  
ございました。

※本記事はWeb会議でインタビューした内容を  
一問一答形式で再編集したものです。